



アイヌの人たちの 歴史・文化等

1 身近な生活から教材を見つけよう!

アイヌ語に由来する地名

地名の意味を調べながら、地域の特徴を理解したり、アイヌ語に親しんだりすることで、地域への愛着をはぐくむことができます。

アイヌの人たちの伝統的な料理

伝統的な料理を調べながら、地域の豊かな食材を知ったり、冬の保存食をつくるための知恵や工夫の素晴らしさに触れたりすることで、ふるさとのよさに気付くことができます。

2 体験活動を取り入れよう!

楽器「ムックリ」の製作、演奏体験

伝統的な楽器のひとつであるムックリは、1～2時間程度で製作できます。修学旅行の機会を活用して博物館等で体験活動を行うことができます。

アイヌ文様の刺しゅう体験

アイヌ文様には服を飾るだけではなく、病気から身を守る思いなどが込められており、アイヌ文化を理解する上で効果的な教材です。文化保存会などの方を講師に刺しゅう体験をすることができます。

3 学習環境を整備しよう!

校内「アイヌ文化展示コーナー」の設置

道教委の「北海道ふるさと教育推進事業」の指定校には、関係機関から貸し出されたアイヌの人たちの伝統的な衣服、民具などを展示したコーナーを設置している学校があります。

展示コーナーを設置することで、社会科の歴史学習で活用したり、総合的な学習の時間で展示物をじっくり調べたりするなど、アイヌ文化への理解を深めることができます。

総合的な学習の時間と各教科材等

上記の教材例は、北海道ふるさと教育推進事業の

北方領土

1 地域の方々や元島民から学ぼう!

「北方領土カルタ」の作成

北方領土への思いや願いを大きな板カルタに描いたり、読み札を考えたりして「北方領土カルタ」を作成することで、ふるさとへの愛着をはぐくむことができます。

元島民「語り部」の講話

かつて北方領土に暮らしていた方を「語り部」として学校に招き、当時のお話を聞くことで、子どもたちが北方領土について実感を伴って理解を深めることができます。

2 調査・見学活動を取り入れよう!

学習資料を活用した調べ学習

北方領土復帰期成同盟から、小5及び中2の児童生徒に学習資料が配付されています。資料には北方領土の写真や統計などが掲載されており、調べ学習に活用することができます。

修学旅行や宿泊体験の機会の利用

札幌市や根室管内などにある北方領土に関する施設を見学したり、間近に北方領土を見たりすることにより、北方領土問題について実感を伴って考えることができます。

3 学習環境を整備しよう!

校内「北方領土展示コーナー」の設置

道教委の「北海道ふるさと教育推進事業」の指定校には、北方領土にかかわる国境の移り変わりを示したパネルなどを展示したコーナーを設置している学校があります。

展示コーナーを設置することで、社会科における領土に関する学習に活用したり、展示コーナーで得た情報をもとに全校で「北方領土」に関する標語に応募したりするなど、学習活動を広げることができます。

との関連を図った指導も効果的です。

実践校及び協力校の実践等をもとに作成しています。

学年		小学校第5学年		単元名		北方領土の暮らし		[配当時数10時間]	
単元の目標		北方領土の自然・産業等について、自ら課題を見付け、調べたことをまとめ、発表することができる。							
育てようとする資質や能力及び態度		ア 学習方法に関すること		イ 自分自身に関すること		ウ 他者や社会とのかかわりに関すること			
		相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現することができる。		目標を設定し、課題の解決に向けて行動することができる。		異なる意見や他者の考えを受け入れることができる。			
時間	単位時間の目標	主な学習活動					評価規準		
1~2	課題の設定 全体の学習テーマをもとに、資料を比較して調べたいことから課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会科で学習した北方領土のことを振り返り、自分が興味をもち、もっと調べてみたいことをもとに課題を設定する。 <p>[全体の学習テーマ] 昔の北方領土にタイムスリップして、島々のよさを見つけよう!</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北方領土の学習資料をもとに、昔の北方領土を写した写真と墓参時の写真を比較したり、関連させたりして、ふるさとを思う人たちの気持ちを考える。 					イ 学習テーマを設定し、課題の解決に向けて行動している。		
3~5	情報の収集 写真や地図を比較したり、講話から課題解決に必要な情報を収集する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 校内の「北方領土コーナー」で、 <ul style="list-style-type: none"> ● 昔の地図と現在の地図を比較して、気付いたことをメモする。 ● 展示パネルの情報から、次時の「元島民のお話」で質問したいことをメモする。 ● 北方領土の元島民の講話を聞き、自分の課題をもとに、島々のよさを見つけられるよう質問する。 							
6~7	整理・分析 収集した情報を整理・分析し、解決したことと新たな課題を分析する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 地図や資料から読み取ったこと、元島民の講話から分かったこと、心に残ったことをカードに整理し、 <ul style="list-style-type: none"> ● 同じ内容や関連するカードをまとめ、まとまりごとにタイトルを付ける。 ● 整理したことから、「解決したこと」と「新たな課題となったこと」を分析する。 					ウ 異なる意見や他者の考えを受け入れて整理・分析している		
8~10	表現・まとめ 北方領土のよさが地域の方々に伝わるよう適切に表現し、まとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 整理・分析したカードをまとめて「北方領土かべ新聞」を作成し、地域に公開する参観日で掲示し、保護者や地域の方々に、北方領土の昔の様子やよさを発表する。 ● 学習を振り返り、次の学習に生かせることを整理する。 					ア 相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現している。		

▲上記の単元の指導計画の例は、〔課題の設定〕1時間、〔情報の収集 ※元島民の講話〕1時間、〔整理・分析〕2時間、〔表現・まとめ〕1時間の合計5時間の配当時数でも実施することができます。

平成23年度から全道すべての管内で「北方領土」と「アイヌの人たち」

平成23年度
北海道ふるさと教育
推進事業
テーマ「北方領土」
指定校

実践校

栗山町立角田小学校
八雲町立熊石第一中学校
網走市立呼人中学校
芦別市立芦別小学校
小樽市立向陽中学校
奥尻町立青苗中学校
枝幸町立音標小学校
根室市立昆布盛小学校

協力校

当別町立弁華別中学校
奥尻町立奥尻中学校
音更町立駒場中学校
蘭越町立御成小学校
苫小牧市立苫小牧東小学校
上富良野町立上富良野西小学校
枝幸町立風烈布小学校

仁木町立銀山中学校
名寄市立名寄西小学校
浜中町立浜中中学校
喜茂別町立鈴川小学校
えりも町立庶野小学校
西興部町立西興部中学校

安平町立安平小学校
苫前町立苫前小学校
根室市立落石小学校
真狩村立御保内小学校
様似町立様似中学校
苫前町立古丹別小学校
清水町立御影中学校

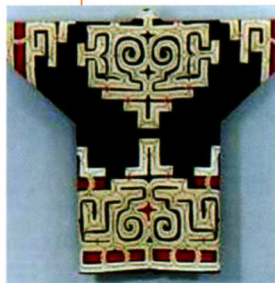
浦河町立荻伏中学校
枝幸町立枝幸南中学校
島牧村立島牧中学校
八雲町立泊川小学校
羽幌町立焼尻小学校
厚岸町立真龍小学校

Webページに掲載して「指導プログラム」を活用しています。

アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習

総合的な学習の時間
単元の指導計画の例

学年		中学校第3学年		単元名		アイヌ文化の体験を通してメッセージを発信しよう		[配当時数10時間]	
単元の目標		アイヌ文化を体験することにより、アイヌ文化への理解を深めるとともに、「伝統や文化」について考えたことを表現することができる。							
育てようとする資質や能力及び態度		ア 学習方法に関すること		イ 自分自身に関すること		ウ 他者や社会とのかかわりに関すること			
		複雑な問題状況における事実や関係を把握し、自分の考えをもつことができる。		自己の将来を考え、夢や希望をもつことができる。		互いの特徴を生かし、協同して課題を解決することができる。			
時間	単位時間の目標	主な学習活動						評価規準	
1～2	課題の設定 全体の学習テーマをもとに、イメージを広げ、自己の課題を設定する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体の学習テーマをもとに、第1～2学年でのアイヌ文化の学習を振り返り、ウェビング図を作成し、自己の学習課題を設定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> [全体の学習テーマ] アイヌ文化の体験を通して、全校生徒に向けて「伝統や文化」について考え、メッセージを発信しよう。 </div> 						ア これまでの学習をもとに事実や関係を把握し、自分の学習テーマを設定している。	
3～5	情報の収集 観察やインタビューから課題解決に必要な情報を収集する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 校内のアイヌ文化展示室で、木綿衣や樹皮衣、楽器(ムックリ)について調べ、気付いたことをリストにまとめる。 ● 地域の文化保存会の方を講師として行う「文様の刺しゅう体験」や「ムックリ製作体験」を選択し、体験する。 ● 体験を通して講師の方にインタビューし、分かったことをリストにまとめる。 						ウ 互いの考えを生かし、協同して課題を解決しようとしている。	
6～7	整理・分析 収集した情報から自分の考えの変容をつかみ、新たな課題を分析する。	<ul style="list-style-type: none"> ● 体験で得た情報を分析し、「伝統や文化」について自分の考え(メッセージ)を整理する。 ● 自分の考えを「メッセージボード」にまとめる。 						イ 自己の将来を考え、「伝統や文化」について自分の考えをもち、表現している。	
8～10	表現・まとめ 考えを論理的にまとめ、メッセージをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> ● 文化祭の時期に合わせ、校内のアイヌ文化展示室に、「メッセージボード」を掲示し、全校生徒に向けてメッセージを発信する。 ● 学習を振り返り、次の学習に生かせることを整理する。 							



▲上記の単元の指導計画の例は、[課題の設定]1時間、[情報の収集]1時間、[アイヌ文化の体験]2時間、[整理・分析]1時間、[表現・まとめ]1時間の合計5時間の配当時数でも実施することができます。

「アイヌの人たちの歴史・文化等」をテーマとした「ふるさと教育」を推進しています。

平成23年度
北海道ふるさと教育
推進事業
テーマ「アイヌの人
たちの歴史・文化等」
指定校

実践校

岩見沢市立東光中学校
平取町立二風谷小学校
枝幸町立山白小学校
滝川市立江陵中学校
小樽市立手宮西小学校
新ひだか町立桜丘小学校
初山別村立初山別中学校
上土幌町立北門小学校

協力校

恵庭市立若草小学校
福島町立吉岡小学校
北見市立相内小学校
千歳市立末広小学校
積丹町立美国中学校
長万部町立長万部小学校
枝幸町立乙忠部小学校
帯広市立西小学校

倶知安町立倶知安小学校
上ノ国町立上ノ国小学校
音更町立駒場小学校
千歳市立緑小学校
苫小牧市立緑陵中学校
上ノ国町立河北小学校
網走市立潮見小学校
釧路市立阿寒湖中学校

登別市立登別小学校
美深町立美深中学校
釧路市立阿寒湖小学校
余市町立登小学校
日高町立門別小学校
下川町立下川中学校
上土幌町立上土幌小学校
中標津町立中標津東小学校

室蘭市立翔陽中学校
小平町立小平中学校
中標津町立西竹小学校
泊村立泊小学校
新冠町立新冠小学校
小平町立鬼鹿中学校

Information

広がる「ふるさと教育」

総合的な学習の時間『指導プログラム』

道教委では、ふるさと教育の充実に向け、「総合的な学習の時間『指導プログラム』」(単元の指導計画)として、

- 地域の自然を教材とした指導プログラム
- 地域の産業を教材とした指導プログラム

などを作成し、Webページからダウンロードできるよう掲載しています。

また、指導プログラムの教師用の手引も併せて掲載しています。

道教委 ふるさと教育「指導プログラム」

ふるさとNavi(ナビ)

●道教委では、北海道の教育資源を生かした体験活動等を紹介するWebページ「ふるさとNavi」を開設しました。

●「ふるさとNavi」では、本道の小・中学校における、農業体験や長期宿泊体験などの体験活動の実践例を随時掲載し、情報発信をしています。

道教委 教育課程 ふるさと Navi



参考Webページ 検索キーワード

■北方領土

北海道立北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」
北海道総務部北方領土対策本部

■アイヌの人たちの歴史・文化等

北海道立アイヌ民族文化研究センター
北海道教育庁学校教育局義務教育課
「普及啓発資料『ピラサ』」

■北海道の文化資源等

北海道文化資源データベース

